

北海道吹奏楽連盟



第5回北海道バンドミュージックキャンプ スペシャルコンサート & 研究発表

2017年3月28日(火) 19:00開演 ニトリ文化ホール (大ホール)

～クラリネット独奏 中川 知美～ (ピアノ伴奏 中谷 友美)

プロムナード (R.クレリス)

序奏とロンド (CH-M.ガイドール)

～サクソフォン独奏 國末 貞仁～ (ピアノ伴奏 中谷 友美)

踊り明かそう (F.ロウ/石川 亮太 編曲)

ロンドンデリーの歌 (石川 亮太 編曲)

The Last Country (高橋 宏樹)

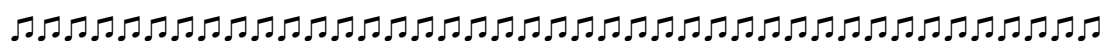
～金管五重奏 札幌金管五重奏団～

森にて (E.ボッサ)

ラッスストロンボーン (H.フィルモア)

ぞうさん組曲 (團 伊玖磨 & H.マンシーニ)

金管五重奏曲 (M.アーノルド)



～受講生合同バンドによる研究発表～

講師：保科 洋・中村 俊哉

演奏者・講師プロフィール

～中川知美～ NAKAGAWA, Tomomi (クラリネット)

札幌市出身。東海大学付属第四高等学校、国立音楽大学卒業後、ロームミュージックファンデーションの奨学生として渡仏。パリ地方音楽院、パリ・エコール・ノルマル音楽院を共に満場一致の最優秀で卒業。フランス・ピカルディコンクール クラリネット部門第1位。文化庁・日本演奏連盟主催による、新進演奏家育成プロジェクトにて、ウェーバーのクラリネット協奏曲第1番を札幌交響楽団と共に、札幌コンサートホールKitaraにてソロ・リサイタルを開催。クラリネットを村松時雄、武田忠善、フランク・アメ、ギィ・ドゥブリュ各氏に師事。現在、演奏活動を行うほか、指導にもあたっている。

～國末貞仁～ KUNISUE, Sadahito (サクソフォン)

香川県立高松高等学校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程修了。サクソフォンを西宇徹、須川展也、石田智子、二宮和弘、富岡和男の各氏に、室内楽を中村均一氏に師事。2005年、第22回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第3位入賞。これまでに「The Last Country」(ソロアルバム)「Saxophone Renaissance」(Quatuor B・レコード芸術特選盤)をはじめ多数のCDをリリース。サクソフォン四重奏団Quatuor B、Quintet CIRC、Trio YaS-375、Saxaccord等のメンバーとして活動。現在、京都市立芸術大学、洗足学園大学非常勤講師として後進の指導にあたっている。

～中谷友美～ NAKAYA, Tomomi (ピアノ)

札幌市出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻を卒業し、同大学院修士課程を首席で修了。併せてクロイツァー賞を受賞。在学中、国内外研修奨学金を受け、ティボール・ヴァルガ国際音楽祭(スイス)に参加。これまでに岡本孝慈、加藤一郎、安井耕一の各氏に師事。マスタークラスでは、F.W.シュニア、ダン・タイ・ソン、A.イェンナー、F.クリダ氏等に指導を受ける。第6回かずさアカデミア音楽コンクール、第7回ルーマニア国際音楽コンクール入選。第21回やちよ音楽コンクール第3位。2009年～12年、CASIO『Privia』のTVCMに出演。2011年より札幌と東京で毎年リサイタルを開催しており、2014年ルーテルホールでの「中谷友美ピアノリサイタル」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。平成28年度 道銀芸術文化奨励賞受賞。現在、札幌を拠点にソロ、室内楽、歌曲伴奏など積極的に音楽活動を展開している。また後進の指導にもあたっている。本年5月「道銀ライラックコンサート」において札幌とベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番を協演予定。

～福田善亮～ FUKUDA, Yoshiaki (トランペット)

東京芸術大学卒業。1984年、第1回日本管打楽器コンクール・トランペット部門第1位。新日本フィルハーモニー交響楽団を経て、86年4月から2005年3月まで東京都交響楽団首席奏者。同年、札幌交響楽団首席奏者として入団。トランペットを杉木峯夫、故中山富士雄、ビュール・ティボーの各氏に師事。現在、北海道教育大学、札幌大谷大学非常勤講師。

～佐藤 誠～ SATO, Makoto (トランペット)

MBC南日本放送音楽コンクールにて金賞受賞。第1回全九州ソロコンテスト第一位。東京芸術大学付属音楽高校を経て、東京芸術大学音楽学部入学。1985年東京芸術大学卒業後、同大学主催の新人演奏会に出演。フリーで活動ののち、86年札幌交響楽団に入団。北川晋、故中山富士雄の各氏に師事。北海道教育大学非常勤講師。

～岩佐朋彦～ IWASA, Tomohiko (ホルン)

宮崎県出身。武蔵野音楽大学卒業。卒業演奏会に出演。ハンガリー国立リスト音楽院修了。第7回日本クラシック音楽コンクール第3位入賞(最高位)。第74回日本音楽コンクール入選。ブダペスト・スプリングフェスティバルにオーケストラ、室内楽のメンバーとして2001年、03年に出演。2006年小澤音楽塾メンバー。在学中より、オーケストラ、吹奏楽、室内楽、スタジオワーク等において活動。スーパー・ドリーム・ウインドオーケストラメンバー。08年5月札幌交響楽団に入団。これまでにホルンを小沢千尋、田中正大、ラスロ・ゼーマン、アダム・フリードリッヒの各氏に、室内楽を甲斐道雄、カールマン・ベルケシュの各氏に師事。

～山下友輔～ YAMASHITA, Yusuke (トロンボーン)

鹿児島県出身。10歳よりトロンボーンを始める。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。同声会賞を受賞。第6回日本トロンボーンコンペティションにて中学生初の入賞となる第2位、第8回にて第1位を受賞。全九州高等学校音楽コンクールグランプリ受賞。宮日音楽コンクール最優秀賞、グランプリ受賞。東京音楽コンクール入選。また、ソリストとして芸大フィルハーモニア、札幌交響楽団とコンチェルトを共演。これまでに原尚二、伊藤清、古賀慎治の各氏に師事。現在、札幌交響楽団首席トロンボーン奏者。札幌大谷大学、北海道教育大学非常勤講師。

～玉木亮一～ TAMAKI, Ryoichi (チューバ)

東京音楽大学を卒業後、米国オハイオ州ポーリング・グリーン州立大学演奏専門家コースを修了。同大学院修士課程を経て、ペンシルバニア州立大学に学ぶ。2003年ソルトレイクシティで開催されたMINAコンクール金管楽器部門で全米1位受賞。1999年京都国際音楽学生フェスティバルオーケストラ、02年PMF、03年ナショナル・レパトリー・オーケストラ(NRO)などの国際音楽祭にも参加。04年札幌交響楽団入団。11年初のソロリサイタル。12年2月には札幌とヴォーン＝ウィリアムズ作曲「チューバ協奏曲」を共演。これまでに香川千楯、鈴木浩二、田中真輔、V.ブラウン、F.カンツィックの各氏に師事。北海道教育大学岩見沢校、札幌大谷大学非常勤講師。

～保科 洋～ HOSHINA, Hiroshi (講師)

昭和11年東京に生まれる。両国高校卒業後、昭和29年東京芸術大学作曲科に入学。昭和35年同大卒業とともに、毎日コンクール作曲部門管弦楽部の部第一位入賞。昭和38年には、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、昭和58年兵庫教育大学教授。平成13年3月定年退官し同大名誉教授となる。作曲・指揮の両面で活躍。平成3年、現存する作曲家では初の日本吹奏楽学会アカデミー賞を受賞する。指揮活動も幅広く行い、シエナ・ウインドオーケストラをはじめ、数多くのオーケストラや吹奏楽の客演指揮者を務めている。兵庫教育大学名誉教授、作陽音楽大学客員教授、浜松アクト音楽院音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

【主な作品】オペラ「はだしのゲン」、管弦楽のための変奏曲、古祀、祝典舞曲、カラストロフィー、シンフォニック・オード、饗宴Ⅰ・Ⅱ、愁映、メモワール、パストラール、風紋、アルピレオ、復興、翔陽など

～中村俊哉～ NAKAMURA, Toshiya (講師)

1967年埼玉県生まれ、玉川大学文学部芸術学科音楽専攻卒業。中学の吹奏楽部で合奏の楽しさを知り、当時まだ無名だった埼玉栄高校に何故か惹かれて進学、大滝実先生に出会い音楽のすばらしさを学ぶ。そして、高3のとき、小澤俊朗先生に合奏指導を受け、いきなり普門館に初出場。その魔術のような指導法に憧れ、それ以来、吹奏楽指導の世界へ。徹底的な基本が繰り出す、魅力溢れる響き作りには定評がある。現在、神奈川大学吹奏楽部コーチの他、東海大学付属札幌高等学校吹奏楽部、春日部共栄高等学校吹奏楽部、東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部、創価学会関西吹奏楽団などを指導、一級のバンドに育てあげる。バンドディレクター、トレーナーとして全国的に活動中。ヤマハバンドディレクター、21世紀の吹奏楽“饗宴”会員。吹奏楽を小澤俊朗、オーボエを虎谷迦悦、似鳥健彦、指揮を岩村力の各氏に師事。好きな作曲家はショパン。